

# アスパラガス「ハルキタル」の立茎開始時期

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

部門名 野菜—アスパラガス—品種、作型・栽培型、品質・食味

担当者 木村善明・緑川弥寿彦・佐藤正武

## I 新技術の解説

### 1 要旨

福島県オリジナル品種「ハルキタル」のハウス半促成長期どり栽培（保温及び雨除けを目的に全期間フィルムで被覆し、内カーテンなどを活用した前進出荷と順次立茎を組み合わせることで早春から夏秋期にかけて連続して収穫する栽培方法）において、定植後成圃化するまでの収量及び株養成量を高めるための立茎開始時期を明らかにした。

- (1) 2年生株は、「ウェルカム」と比べ、やや早め（春どり期収量が20～30kg/aに達した時期）に立茎を開始することが適当である。立茎開始が遅れると夏秋どり期や翌年春どり期における若茎の規格、品質が劣る（図1、図2）。
- (2) 3年生株は、「ウェルカム」と同時期（春どり期収量が60kg/aに達した時期）に立茎を開始することが適当である（図1、図2）。
- (3) 2、3年生時の栽培管理を適正に行うことにより、4年生株の春どり期間を延長し、立茎開始を遅くすること（春どり期収量が120kg/aに達する時期）ができる（図1、図2）。

### 2 期待される効果

「ハルキタル」は収穫茎数が多く、収量性が高い反面、若茎がやや細い特性を有しているが、若年生時に株養成に重点をおいた立茎管理を行うことにより、茎径の改善が見込まれ、収量増加も期待できる。

### 3 適用範囲

県内全域

### 4 普及上の留意点

- (1) 現地の立茎開始時期は、本成果を参考に、各ほ場における前年までの生育状況、春どり期における収穫量や品質の推移等を考慮して判断する。
- (2) 試験に使用したパイプハウスの被覆材はPOフィルムである。春どり期は農ポリフィルムによる内カーテン（1重）被覆を行った。
- (3) 立茎方法は順次立茎で、親茎として直径13～15mmの茎を1株あたり4～5本選定した。その他の栽培管理は、「アスパラガス栽培の手引き（福島県農林水産部、平成19年）」に準じた。

## II 具体的データ等

表1 春どり期収穫期間

株齢	品種	立茎開始時期	保温開始日	収穫開始日	立茎開始日	収穫期間(日)
2年生 (2007)	ハルキタル	20kg/a収穫後	2月22日	3月7日	3月16日	10
	ウエルカム	30kg/a収穫後		3月4日	3月19日	17
3年生 (2008)	ハルキタル	60kg/a収穫後	2月22日	3月16日	4月7日	23
	ウエルカム			3月12日	4月3日	23
4年生 (2009)	ハルキタル	120kg/a収穫後	2月3日	3月6日	4月27日	53
	ウエルカム	100kg/a収穫後		3月9日	4月12日	35

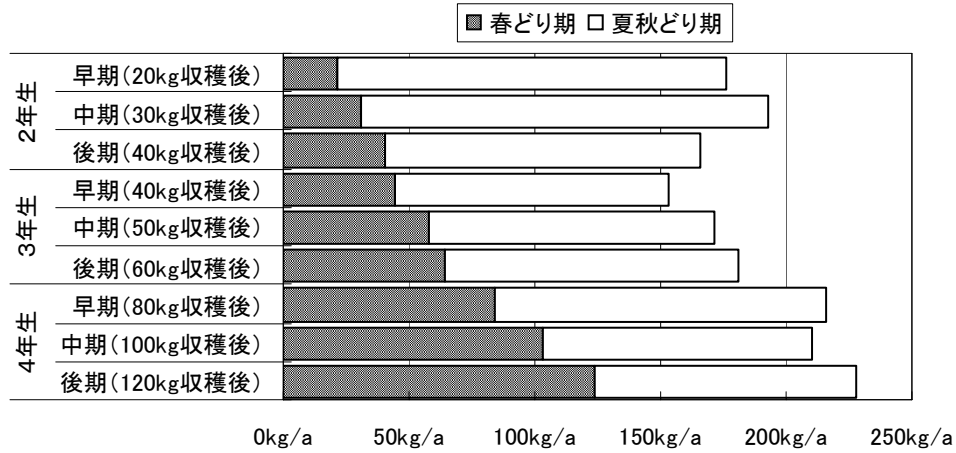


図1 立茎開始時期の違いが春どり期及び夏秋どり期の商品茎収量に与える影響

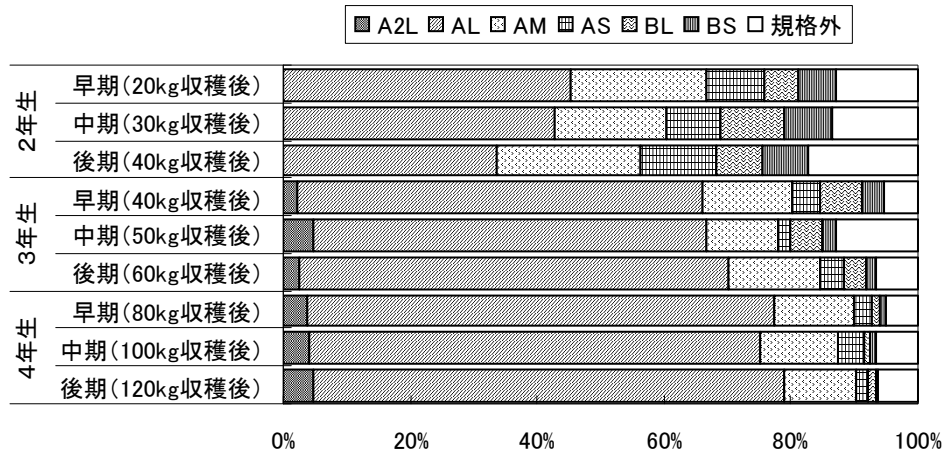


図2 立茎開始時期の違いが翌年春どり期における若茎の規格、品質に与える影響

表2 ハルキタルのハウス半促成長期どり栽培における立茎開始時期

株齢	立茎開始まで商品茎収量 (春どり期商品茎収量) (kg/a)	左の収穫期間 (日)	他品種との比較
2年生	20~30	10~17	ウエルカム (30kg/a) よりも早く立茎開始
3年生	60	23	ウエルカム (60kg/a) と同時期
4年生	120	51	—

## III その他

### 1 執筆者

木村善明

### 2 研究課題名

野菜・花きの県オリジナル品種の高品質・安定生産技術の確立

### 3 主な参考文献・資料

平成19年度～22年度センター試験成績概要